

第65回津市総合教育会議議事録

日時：令和8年2月9日（月）

午前10時開会

場所：津市教育委員会庁舎4階 教育委員会室

出席者

津市長

津市教育委員会

前葉泰幸

教育長 森 昌彦

委員 西口 晶子

委員 富田 昌平

委員 田村 学

委員 山口 友美

教育総務部長 定刻になりましたので、「第65回津市総合教育会議」を開催いたします。それでは、前葉市長から開会のご挨拶をお願いいたします。

津市長 只今より、第65回津市総合教育会議を開催いたします。

教育総務部長 それでは、「1 協議・調整事項」であります「令和8年度の教育行政について」に入りたいと思います。それでは、事務局からご説明させていただきます。

教育総務課長 それでは、「令和8年度の教育行政について」、ご説明申し上げます。お手元の資料をご覧ください。

今回の資料は、前回、ご協議をいただきました各項目における令和8年度の方向性を受け、事業内容の検討や、人事・財政担当など、関係部との協議を踏まえ、「令和8年度の取組」を整理しております。

なお、令和8年度当初予算の正式な発表前でありますことから、予算額については協議中である旨を、表記してございますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

それでは、各項目について、主に「令和8年度の取組」を説明させていただきます。

資料の1ページをお願いします。

「1 津市GIGAスクール構想の実現」については、自己調整する力や情報活用能力の育成、及び安心して学べる環境整備を目的として、新タブレット端末使用開始、SSO（シングルサインオン）導入によるアカウントの統合、ヘルプデスクの活用促進など、デジタル学習基盤を前提とした環境整備を進めていきます。また、新たに、中学校・義務教育学校後期課程を対象としたデジタル採点システムの導入を予定しています。

次に、資料の2ページをお願いします。

「2 子どもが主体となる教育環境」については、次期学習指導要領の改訂を踏まえて「すべての学校において『深い学び』を確かなものにする授業改善の実施」や、「特化研究プロジェクト事業による『探究的に学ぶ姿を育む授業改善』の推進」、「多様な学びを支えるための津市小中学校等非常勤講師等の人材確保」を行うことで、「子どもたち一人一人が主人公となる教育の推進」に努めていきます。

次に、資料の3ページをお願いします。

「①津市小中学校等非常勤講師（教育課題対応講師・学力推進講師）」については、「全ての学校への校内教育支援センター設置をめざした津市小中学校等非常勤講師の配置拡充」として、教育課題対応講師を2人増員する予定です。また、「児童生徒の実態に応じた教育を実現するための、津市小中学校等非常勤講師（学力推進講師）の適切な配置」に努めていきます。

次に、資料の4ページをお願いします。

次に、「②特別支援教育支援員・学校サポーター・学級支援サポーター」については、看護師資格をお持ちの方を含めた「特別支援教育支援員の配置拡充」として、特別支援教育支援員を5人増員する予定です。また、「特別な支援を要する児童生徒への支援・指導の充実」や、「教職員の指導力・対応力の向上のための人材を確保」するため、学校サポーターを1人増員、学級支援サポーターを令和7年度と同人数とする予定です。

次に、資料の5ページをお願いします。

「3 子どもたちと向き合う時間の確保」については、まず、教員支援員については、これまで行ってきた支援のためのスタッフを学校に配置するのではなく、学校給食会計業務を担うスタッフとしての人材を教育委員会事務局に配置していくことから、令和8年3月をもって、配置を終了いたします。次に、教員業務支援員（スクール・サポート・スタッフ）については、県に対して引き続き配当時間の増配分および基準の見直し・拡充を要望し、教職員の負担軽減とともに、学校教育活動のより一層の充実につなげていきます。

次に、資料の6ページをお願いします。

「4 学校における働き方改革の一層の推進」については、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法等の一部を改正する法律が成立したことに伴い、政府としては、令和11年度までに教育職員の1か月あたりの時間外在校等時間を平均30時間程度に削減することを目標にしており、時間外在校等時間が80時間を超える教育職員を早急になくさなければならないものとしています。また、令和8年4月1日以降、教育委員会における実施の確保のための措置として、「業務量管理・健康確保措置実施計画」の策定及び公表や、実施計画の内容及び実施状況について、総合教育会議に報告することとなります。

次に、資料の7ページをお願いします。

「5 少人数学級編成に向けた取組」については、令和8年度は中学1年生において35人学級編成となる見込みであり、三重県は、これまでも国に先行した施策を実施していることから、今後の動向を注視していきます。

次に、資料の8ページをお願いします。

「6 水泳授業の継続」については、現在、新たにプールの使用が困難となる学校の予定はなく、令和7年度に引き続き、12校の子どもたちに民間プール等を活用して水泳授業の機会を確保していきます。

次に、資料の9ページをお願いします。

「7 部活動の地域連携・地域展開」については、休日の運動部活動を令和8年の夏から令和11年の夏まで、拠点型部活動として実施し、その後、認定地域クラブ活動に移行していきます。また、拠点型部活動から認定地域クラブ活動に移行するためには、関係団体等の協力が必要なことから、新たに、津市部活動地域展開コーディネーターを配置する予定です。

次に、資料の10ページをお願いします。

「8 学校給食の安定的な提供」については、令和8年4月から給食を実施している公立小学校、義務教育学校前期課程を対象に、近年の物価動向を加味した学校給食費の抜本的な負担軽減、いわゆる給食費無償化が実施されます。令和8年度の取組としましては、令和8年4月以降も、これまでどおり、給食費の物価上昇分相当額を支援するとともに、小学校については、国・県による負担軽減額 月額5,200円では物価上昇による支援が行き届かないことから、不足相当分を市独自に追加で支援する予定です。また、令和11年度の開校をめざす新たな白山地域の小学校となります大三小学校の大規模改造工事期間中、八ツ山小学校で給食調理を行い、大三小学校へ配送するため、配送車両等の購入、配送業務の委託を予定しています。

次に、資料の11ページをお願いします。

「9 学校給食会計の公会計化」については、令和8年9月からの公会計への移行に向

けて、学校給食会計管理システムの構築や、運用マニュアルによる学校側への説明等を進めていきます。

次に、資料の 12 ページをお願いします。

「10 教育環境の整備」については、まず、長寿命化改修事業では、優位な財源を積極的に活用し、南立誠小学校、立成小学校の改修工事を進め、また、学校施設改修特別推進事業では、津市学校施設整備基金を活用し、美杉小学校の校舎の防水改修工事などを予定しています。さらに、学校体育館の空調整備については、早期整備に向けた予算を提案する予定です。

次に、資料の 13 ページをお願いします。

「11 外国につながる子どもの教育環境」については、引き続き「初期日本語教室『きずな』『移動きずな』の充実」、「就学前日本語教室『つむぎ』の充実」、「高校進学ガイダンス及び大学見学ツアーの充実」などにより、不就学状態の外国につながる児童生徒をなくすことにつなげたり、進学への興味関心を高めたりしていきます。

次に、資料の 14 ページをお願いします。

「12 地域とともにある学校づくり」については、学校運営協議会と地域学校協働本部の連携・協働によるめざす姿に向けて、「地域学校協働活動等と、総合的な学習の時間等の探究学習で身に付けた課題発見・解決能力を接続した、地域と学校がともにつくる‘生きた学び’の実現」や、「それぞれの地域の実情に応じた、地域コーディネーターや公民館等を中心とした地域学校協働本部の体制構築」などに取り組んでいきます。

次に、資料の 15 ページをお願いします。

「13 幼児教育から小学校教育への連続した学び～津市架け橋プログラムの推進～」については、「津市架け橋プログラム」がめざす「幼児教育と小学校教育の接続・連携強化」や「幼児教育・小学校教育それぞれの教育の改善・充実」のため、「子ども主体・体験重視の生活科を基盤とした授業づくり」などに取り組んでいきます。

次に、資料の 16 ページをお願いします。

「14 放課後の児童の居場所の充実」の「①公設民営放課後児童クラブの施設整備」については、令和7年度に設計した安濃放課後児童クラブ施設の移転・改修工事を予定しています。

次に、資料の 17 ページをお願いします。

「14 放課後の児童の居場所の充実」の「②放課後児童クラブへの運営支援」については、「運営費補助金のより一層の充実」や、運営に係る保護者等の負担軽減、放課後児童支援員等の確保と資質向上によって、放課後児童クラブを支援していきます。

次に、資料の 18 ページをお願いします。

「15 白山地域における小学校の在り方」については、白山地域小学校の在り方検討委員会委員及び教職員等で構成する作業班を設置し、具体的な事項について協議、検討していくとともに、子どもたちの思いや意見を可能な限り反映していきます。

最後に、資料の 19 ページをお願いします。

「16 社会教育の推進」については、まず、「生涯学習の推進」では、南郊公民館等複合施設の整備として、建築工事の継続、外構工事を予定しています。また、「公民館講座の開催」、「社会教育団体への支援」、「多様な世代と交流できる場の提供」に取り組んでいきます。次に、「文化財事業の推進」では、「地域未来交付金を活用した史跡に関

するお城公園整備」に取り組んでいきます。最後に、「図書館事業の推進」では、居場所機能及び蔵書の充実のほか、図書館サービスの充実として、電子図書サービスの導入を予定しています。

以上で説明を終わります。ご協議のほどよろしく申し上げます。

津市長 ありがとうございます。それではテーマ別にご意見を伺いながら進めていきます。今の状況をお話します。資料に予算協議中と記載されている理由ですが、市議会議員選挙がありましたので、議会がまだ、議長、副議長の選挙を始め、構成されておられません。すでに2月6日に招集告知をして、13日から議会が開かれます。今のところの予定としては、改めて20日に招集告知をして、27日から議会ということ想定しております。したがって、予算としては、大体の姿、予算案の姿が今、出来つつある状況でありますので、そういうことを前提に来年度の方向性までは書いてあるということでもありますから、その方向性について、今までの議論との整合性とか、それから、もう少しまだ気になるところとかがあったら、ご発言を頂くというかたちで進めてまいりたいと思います。それでは、GIGAスクールから入ってまいります。どうぞ、何かございましたらお願いします。今年の予備機、1,200台なんだけど、これは前回よりも増えているという理解でよかったですか。

学校教育部長 前回導入させていただきましたときは、小学校、中学校も各学級1台でしたので、中学校が教科担任制ということで非常に不便させていただきましたので、今回については、正規の職員は、常勤も含めて1台ということで配当させていただきます。非常勤の方については、予備機を使って配当するというかたちになっております。

津市長 今、指導者用の1,451台の説明がありましたが、私の質問は、壊れたときにすぐに子どもが使えるような状態というのが大事になると思うんですけど、確か私の記憶では、予備機はタブレット端末全体の15%が上限と理解していたんだけど、間違いないですか。

学校教育部長 国は15%が上限と言っていたんですけども、津市では、これまでの壊れた率を確認させていただいて、大体6%ということですよ。

津市長 台数が1万2,000台と6,000台、1万8,000台で1,200台だから、6%ぐらいですね。

学校教育部長 はい。大体6%ぐらいです。

津市長 前回の予備機は。

学校教育部長 予備機はなしです。修理代というかたちでやっていました。予備機は、子どもたちの人数が減っていきますので、その減っていった分を充てていくというかたちで今まではしていました。今回、国から示された15%のうちの大体6%を予備機として

1, 200台、今回は計上させていただきます。

津市長 分かりました。何かよろしいですか。西口委員。

西口委員 デジタル採点システムの導入というのが、今回初めて見たような気がしたんですけれども、これについては一昨年くらいから導入している中学校を除いて、ぜひ進めてほしいという思いでいたもので、今は予算の協議中となっておりますが、ぜひ導入してほしいという思いを持っています。

津市長 はい。どうぞ。デジタル採点システムについて、説明してください。

教育研究支援課長 デジタル採点システムとは、生徒の紙の答案用紙を、スキャナーとか、複合機で取り込んでデジタル画像化し、それをパソコン、タブレットといったデジタル端末を用いて採点をするシステムでございます。その効果としては、採点精度の向上であるとか、採点結果のデータを活用した指導の充実ということで、子どもたちがどこでつまづいているかというのを客観的に捉えることができ、それを指導に生かすことができるという効果がございます。

津市長 よろしいですか。それでは、次に参ります。子どもが主体となる教育環境ですね。これは、2ページ、3ページ、4ページまでに関連してご発言をお願いします。講師と、それから支援員ですね。

これは市費講師と言われているものなんだけど、県費の講師はしっかりと配置されているんですか。

学校教育課長 県費の職員につきましては、令和7年度の4月スタート時点では、必要なところに配置をさせていただいております。ただ、途中で体調を崩される等による補充という部分については十分に配置がされていない部分もありまして、非常勤の方を緊急対応として任用していくなどして、学校への影響を極力少なくしております。

津市長 そのときに非常勤は県費で配置できるんですか。それとも市費でやらないといけないんですか。

学校教育課長 常勤というのが大原則でございますが、どうしてもという場合には、県にお話させていただいて、県費で配置させていただいております。

津市長 何かございますか。田村委員。

田村委員 これは意見とか質問とかではなくて、むしろお願いみたいな感じなんですけど、今予算の協議中ということでありますけれども、各職種ともに、現状維持か、あるいは増員というかたちで予算を取っていただける。それで、せっかく予算を確保できましても、人が確保できなければいけないので、ぜひそこを少し頑張ってもらっていただきたいと

いう希望です。特に、今回、目玉かなと思ったのは、看護師さんはどの現場でも確保に苦しんでおられる職種だと思うので、予算の執行が可能になったら、一生懸命に動いていただいて、少しでも早く現場へ配置いただけるように頑張っていたらと思います。

津市長 はい、西口委員。

西口委員 いかにも先生と生徒の間を一緒に支えてくださるかということで、資料に挙がっている人的な支援ということは本当に重要な制度ですので、よろしくお願ひしたいと思ひます。特に校内教育支援センターが全ての学校に早期に設置されることを強く思ひますので、よろしくお願ひいたします。

津市長 人の確保について、実員のことはどうですか。現状、確保できていますか。

教育研究支援課長 それぞれの講師、それから支援員とも、調整をさせていただいておりますので、現時点では満たしているという状況ではございます。ただ、看護師等については、なかなか難しい現状ではあるように聞いております。

津市長 ほかいかがですか。はい、富田委員。

富田委員 ただいま、人材確保のことについてご説明いただいたのですけれども、保育人材もそうですが、大変苦勞されていると思ひます。ここ最近、新しいアイデアとか、工夫みたいなことで導入されたものがあつたら、ご紹介いただけたらと思ひんですが、いかがでしょうか。

学校教育部長 看護師さんが、やはり非常に厳しい状況にありますので、看護学校へ健康福祉部と一緒に動かさせていただいて、派遣の体制も作れるかどうかも含めて看護師さんがどのような所へお願ひに行つたらご協力をいただけるかということ、連携を取つて協議を進めているということであつたりとか、また講師については、それぞれのチラシを配布するのが非常に効果的で、ハローワークなどで一斉に配信しているのでは、なかなか来ていただけないんですけども、学校から子どもの手を通じて配布していただくと、そういった免許を持っておられる方が結構言つてきていただける。看護師さんもそうなんですけど、チラシが効果的だということが分かつてきましたので、地道なことですけども、進めさせていただいているところであります。

津市長 地域に限定して伝わると、そういう感じですよ。はい。どうぞ。田村委員。

田村委員 今、聴いていて思つたんですけど、看護協会さんにはアプローチはされていないんですか。

学校教育部長 看護協会もアプローチさせていただいています。

津市長　ほかいかがですか。よろしいですか。それでは、次に行きます。5ページですが、6ページまで含めて行きます。子どもたちと向き合う時間の確保で、教員支援員、教員業務支援員なんですけど、今回、6ページで給特法が変わったときにですね、私も全国市長会で説明を聴いてきたのですが、この給特法にわざわざこんなことを書いてあったんです。業務量管理・健康確保措置実施計画という硬い名前の計画なんだけれども、めざすところは、要するに教員の働き方改革を教育委員会にきちっと方針立ててチェックしなさいよということです。それにですね、面白いなと思ったんですが、給特法自身が総合教育会議への報告を義務づけるとともに、地教行法が、学校運営協議会の承認が必要な学校運営に関する基本的な方針の中に、業務量管理・健康確保措置の実施内容を含めると書いていて、これは大きな課題なんですよ。文科省としてはこういう立てつけを作ることが役割であり、そして、現実には現場にお願いしないといけない、任せないといけない、精一杯のところなんだろうなと思いつつ、聴いておりました。このへんも含めて、ご発言があれば、お願いします。よろしいですか。

次、7ページ、少人数学級編成に向けた取組ですね。これは、資料のとおり進めるということですよ。

8ページ、水泳授業の継続ですが、これはいかがですか。何かございますか。以前から受ける施設のキャパシティの問題がずっと意識されてきたんですけど、一方で、四日市は今回全校やるんです。予算には計上されているんです。四日市ができるんだから、津もできるんじゃないかという感じです。

教育長　この前も四日市の教育長とお話をしたんですけど、そもそも民間プールの数が違うので、四日市の場合はそこがクリアできるそうです。全ての小学校ですね。年間使っていますけど、民間に行けるだけの民間のプールがあるんです。津市は、まだもう少しはありますが、津市にある民間プールで全ての小学校ということは難しいなど。

津市長　当初、これを始めるときの議論で、6月から9月と言っていた期間についてかなり緩めましたよね。今、民間プールを使っている学校の子どもたちにいつ行ったっていう話をちらっと聞くんですけど、11月だったり、今頃だったり、行くじゃないですか。そういうことを考えれば、受け皿のプールの限界は、期間の設定で超えられるんじゃないかという感じがしているんですけど、そのあたりいかがですか。

学校教育部長　今、手元に詳しい資料はないんですけども、屋外のプールに入っているときの期間は、先ほど市長おっしゃられたように6月から9月ということですけども、屋内のプールは冬でも入れるということで、季節関係なく、今もさせていただいているんですが、今は、午後は使っていないんです。1限目に出て、2、3限目に授業をして、給食までに戻るとかたちでやっていますので、これを午後も使って、1クラスでも回していけると、もう少し増えるかなと思うんですけども、今、来年度以降の計画をさせていただいているところではあります。

津市長　白山で共用化している5校が令和11年度に1校になるんですけど、一方で、白山にスクールバスが投入されますよね。そうしたら、そのスクールバスの空き時間を使

って移動できる。バスは美里にもあるし、使えるバスはいっぱいあると思うんですね。だから、そういうことを含めて、もう少し柔軟に考えていかないと、追いつかなくなってくるというか、壊れるプールが増えてきて、いよいよ子どもたちが水泳難民になってはいけないので、ここは、新たに使用が困難なプールはない見込みでほっとしないで、次の一手を前もってしっかり考えておいてほしいと思います。

はい。どうぞ。西口委員。

西口委員　それに関して、学校のプールでやっている保護者さんは民間を使っている学校が羨ましいと言うものの、民間のプールでやっている保護者さんは忘れた頃にプールがあるということも言われていて、どっちもどっちかなと思いつつ、何とか子どもたちが泳げる力がついていくことが大事ですよっていう話をしながら聞いています。

津市長　本来、教員が自校のプールで教えるべきだという基本線は、津市は変えずに行きたい。つまり、四日市のように条件が整ったとしても、一斉に全校を民間プールでやるということには、私はあまり賛成していないのですけども、だからといって、壊れてくるプールがあるのに、子どもたちがプールに行けなくなるとはいけないというのは、もうこれは何よりもチルドレンファースト、子どもたちファーストで、何としても守らないといけない一線と思っています。ただ、保護者さんの意見はいろいろあると思いました。

よろしいですか。それでは9ページ、部活動の地域連携・地域展開ですね。さあ、これは、いよいよね。どうぞ。西口委員。

西口委員　令和8年度夏から休日の運動部活動は拠点型の部活動になっていくということで、上手く運用をしていくのは、コーディネーターの人の配置に大きくかかってくるような気がしているんですけど、今のところ、何人ぐらいと思っているのでしょうか。

教育研究支援課長　部活動地域展開コーディネーターについては、1人を予定させていただいております。

津市長　このコーディネーターは、各地に配置されて仕切っていくというよりも、全体調整をするぐらいの感じなんです。だから、それよりも、現場がうまく動き始めるかどうかは圧倒的に大きなことです。

はい。どうぞ。教育長。

教育長　大前提としてよく言わせてもらっていますが、拠点型部活動という名前を付けていますけど、これは津市独自ですので、こういうやり方をやっているところはあまりないです。それだけ難しいんです。拠点型といっても、手を挙げて部活をやってくれる教員に頼るわけです。令和8年夏から令和11年の夏までの間は。その手を挙げてくれる教員の方が大体2割ぐらいいるんですけど、種目がいろいろばらけていたりとか、それから種目も団体種目のものもあれば、団体も個人も両方あるものもあつたりとか。それを今度の人事でうまく配置しなければいけないということがあって、今、ものすごく苦しんでいます。うまく令和8年度をスタートできたらいいなと思うんですけど、最初はいろいろある

と思います。スタートのあたりは。まずはどの種目で、どれくらいできてというあたりとか、本当に手探りの状態の部分はまだあるので。ただ、これをやらないと、いきなり認定地域クラブへ移行と言って、手放してしまっても、子どもファーストでやりたいことができないということになってしまうので、今の津市の状況を考えたら、当面は、部活をやっていただける先生方に力を借りてやる期間がこれだけあるということですので、令和8年夏というのは、今からの人事も含めてですね、結構大変です。

津市長　　なかなかの挑戦。チャレンジ。

教育長　　チャレンジですね。本当にそうです。

津市長　　これがうまくいったらすごいですよね。はい。田村委員。

田村委員　　この拠点、1つとか、2つとか、3つとか、あるいはエリアごとですか。

津市長　　種目ごとに。だから、人数多い種目だと、拠点も増えるわけです。

田村委員　　そうですか。そんなに単純なものではないというのはよく分かりました。

津市長　　はい。どうぞ。山口委員。

山口委員　　地域を色分けして拠点をきちっと作るというわけではなく、種目ごとに幾つ拠点ができるかということも含めて人員の配置ということですね。それで、その種目ですら、はっきりこちらが決められないですね。児童生徒が必要としてくる種目というのがありますよね。

教育長　　それは、アンケートとかいろんなもので、子どもたちはどれぐらいいて、どれぐらいやろうとしているかとか、この種目にはどれだけ担当してくれる先生がいるかというのは、こちらでつかんでいます。ただ、人事というのは部活だけの問題ではなくて、中学は教科であったりとか、いっぱいいろんなことが絡むので、そういうことと部活動を全部ひっくるめて、この年度末に人事をしなければいけないという、ものすごく難しいことです。

津市長　　全てが丸く収まるというわけにはなかなかいかないという話ですね。

教育長　　本当にこれ、挑戦なんです。市長に言っていただきましたけど、そのとおりなんです。認定地域クラブへもう行きますよというのが本当は楽なんです。それでも、そのようにしても、なかなかそうはうまくいかないのです。

津市長　　よく市長会で話題になるんですけど、上手に認定地域クラブへの移行をやっているとところもあるんだけど、見ていると、教育の現場から離れたスポーツ振興なり、文化振

興なりという観点で進めている。その結果、地域クラブに多くの人数が行っているというところの首長は上手くやっているんだって言うけど、どうかなって少し首をかしげるような感じはしますけどね。一方で、右往左往している首長もいて、いろいろですね。

次、学校給食ですね。10ページから11ページですね。さっきの教員支援員の話は、結局のところは11ページにありますように、引き続き学校で担う業務が喫食の管理、喫食実績だとか、アレルギー情報ですね。それから、検品だとか、在庫管理をするだけで、そのほかの業務が市へ移行するので、給食に関わる業務がかなり現場ではあって、これが軽減されるということなんだろうなということと、時を同じくして、小学生の学校給食費の抜本的な負担軽減というのが令和8年度の予算に計上されますので、これで小学校は給食費を集めなくてよくなるということで、学校給食の世界が大きく変わってくるというタイミングになりました。無償化と公会計のどちらが先かというのはあったんだけど、私は無償化されれば公会計しかないと思っていたんで、もう公会計は当然だということで、それに教育委員会はそれをそうだなという話で、公会計化をすることになったわけでございます。何かございますか。よろしいですか。

田村委員 1つだけ気になるのが、白山ですけど、外で作るということは、今のままの設備で対応できない部分が当然ありますよね。大三小学校の受入れ態勢というのは、校内で調理するのと、配送を受けて配膳だけするのとでは違ってくるので。新たに必要な輸送とか業務委託分は別予算だけど、仮設校舎の設計の中でそういう対応はちゃんと併せて考えていただいているのでしょうか。

給食担当副参事 大三小学校の仮設校舎に配膳室とプラットフォームを設置しまして、給食を受けるように態勢を整えることを考えております。

西口委員 よろしいですか。

津市長 はい。どうぞ。西口委員。

西口委員 八ツ山小で大三小の相当の人数の分が増えるということは、八ツ山小の人数は少人数ですよ、今現在。それが、たくさん大三小の分を受けて作るということは、八ツ山小自体の調理の作る量がすごく増えるということになってきますので、その調理員さんへの支援ということを十分にしてほしいなということ。自分自身がそういう学校に務めたことがあって、調理員さんが応援に来てくれて一緒に調理してくれるんですが、その間の連携とか、いろんなことで目配りが要りますので、市教委さんのほうも目配りをお願いします。それからもう1つ、給食費が無償になっても物価上昇はすごいので、きっと不足分というのが絶対に出てくると思いますので、寂しい給食にならないように支援をお願いしたいと思います。

津市長 10ページの一番頭に書いてある学校給食費の抜本的な負担軽減で、令和6年度調査で4,700円というのを最初に国が提示してきたんですけど、とんでもないということで、市長会としてその後の物価上昇を踏まえるよう話をして、2次案で5,200

円というのが出てきました。津市は、現状、令和7年度は5,456円なんですよね。令和8年度は手元計算では5,490円と見ていまして、この差額は、一旦、国の交付金を充てられる物価高騰対策支援事業で、令和8年度は独自に追加支援を予定しています。今回ですね、他の自治体で、恐らく学校給食費を5,200円に合わせにくる自治体が出てきます。それで実際にどれくらい給食メニューに変化があったかというのは、他の自治体で壮大なる実証実験をしてくれます。注目しておきましょう。よろしいですか。

12ページ、10番、教育環境の整備ですが、注目の体育館エアコンですね。今、空調方式の選定と整備手法を検討していますと書いてございますので、よろしいですか。

それでは、11ページ、外国につながる子どもの教育環境ですね。ポルトガル語圏が多かったのが、少しベトナムが増えてきているのかな。現実には支援が必要な方々のシフトが少しずつ起こっていますか。まだまだかな。子どもの数の変化は。

人権教育課長　子どもの数はですね、今、ポルトガル語圏の子どもが一番多いのはまだ変わりません。ベトナムとか中国の子どもたちが確かに増えてきているのは事実なんですけど、その次がフィリピンの子どもたちです。

津市長　　まだまだですか。

人権教育課長　　はい。ベトナム語とかの通訳をしていただく方を探すのに、一生懸命取り組んでいます。

津市長　　逆に言うと、子どもたちが増える前に、ベトナムからの人たちが増えているので、その人たちの中から、通訳ができる人を探していくということですかね。

人権教育課長　　はい。

津市長　　よろしいですか。それでは、12番、学校運営協議会及び地域学校協働本部などのお話がございますが、いかがですか。よろしいですか。

それでは、次に、架け橋プログラムの推進ですね。富田先生よろしいですか、この話。

富田委員　　そうですね。やるのがかなり明確になってきたように思いますので、そこもよろしくお願いします。

津市長　　はい。どうぞ、山口委員。

山口委員　　架け橋プログラムの推進は、公立幼稚園が中心になっていただくと思うんですけど、公私立幼保こ小によるワーキング会議について、私立がどのように参加していらっしゃるのかという数の把握はしていらっしゃるんでしょうか。

幼児教育担当副参事　　私立の園も全て参加していただいております。随分と私立に教育委員会としての訪問をさせていただく機会も増えまして、共に意識が高まっているとこ

ろでございます。

山口委員 人数としてきちっと把握していらっしゃっていて、今まで参加されていない私立の幼稚園と保育園があるのかどうかとか。

幼児教育担当副参事 参加していない園はないです。

山口委員 実際の架け橋プログラムにも参加していらっしゃるということですね。

幼児教育担当副参事 はい。

田村委員 この内容とは直接関係ないんですけども、先日、新聞で架け橋期の取組が不登校の減少につながっているということが掲載されていて、確か、首都圏東京の中で、モデル校とモデル校ではない所で、そういう差がはっきり出ているという。それで、そういう要素もあるということを前面に出す必要はないと思うんですけども、しっかり意識しておく必要はあるなと思いましたので、ここで申し上げておきたいと思います。

津市長 おっしゃるとおりですね。よろしいですか。それでは、16ページから17ページですね。放課後児童クラブですね。よろしいですかね。

それでは、18ページの白山地域における小学校の在り方ですね。もうこれいろいろ検討していただいて、いよいよここまで来たなということですが、何かございますか。これはよろしいですかね。

最後、19ページ、社会教育の推進。電子図書はどれぐらいのスタートアップになるのか、説明していただけますでしょうか。

津図書館長 電子図書サービスですけども、今計画しているのが、子どもたちの読み放題パックを中心に提供させていただこうと思っております。冊数としては600冊ですけども、無制限にアクセスができますので、たくさんの方々にご利用いただけたらと思います。

津市長 児童生徒向けですか。

津図書館長 はい。

教育長 子どもたちの学習端末につながるんです。

津市長 よろしいですかね。令和8年度の教育行政について、全ての分野について、いろいろご意見を頂きました。ありがとうございました。今日のご意見を踏まえて最終的な予算の協議を重ねていきたいと思えます。

教育総務部長 ありがとうございます。それでは、「2 その他」でございしますが、

特に事務局からの用意はございませんが、よろしいでしょうか。

それでは、これをもちまして、第65回津市総合教育会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。